

マノラマ・ジャファ氏の功績及び経歴について

【賞賜：旭日双光章】

日本・インド間の児童文学を通じた交流及び相互理解の促進に寄与

マノラマ・ジャファ氏は、1932年にインドのウッタル・プラデーシュ州に生まれ、児童文学作家として100を超える児童文学作品を執筆し、「パンチャタントラ物語」、「インドの木」、「本好きカピール」等の作品が日本語に翻訳されています。

1981年よりインド児童書作家・イラストレーター協会（AWIC）事務局長、1990年より国際児童文学評議会（IBBY）インド支部事務局長を務めるとともに、インド国内外の若い児童文学作家の能力向上のために尽力してきました。また、数度にわたる訪日や日本に関する書物の執筆、IBBY日本支部や他の日本関係者との交流等を通じ、児童文学を通じた日印間の交流及び相互理解の促進に貢献してきました。

主な功績及び経歴

- ・2004年、広島の前爆を題材に“Sadako of Hiroshima”という作品を執筆。この作品は、英語及びヒンディー語で出版され、インドをはじめとする海外の子どもたちに原爆や日本について紹介する作品となっている。
- ・2004年4月から9月まで国際子ども図書館において開催された「蓮の花の知恵ーインドの児童文学」展示会に際し訪日し、我が国の子どもたちにインドの児童文学及びインドについて紹介した。
- ・2006年4月、駐インド大使公邸にて、マノラマ・ジャファ氏の著書「My Mother Taught me Origami」のブックリリースイベントを開催した。
- ・2013年、在インド日本国大使館を通じて、日本語を学ぶ学生がいる中高等教育機関約40校に「パンチャタントラ物語」、「インドの木」の日本語版を計100冊寄贈した。
- ・2014年4月、文学と教育への貢献が評価され、インド政府よりパドマ・シュリ賞が授与された。